2026年10月9日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,574万kW
14時、105,745 MW（10エリア同時刻合計）

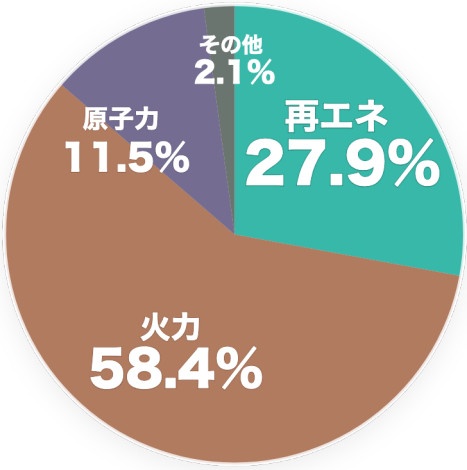
☀ 太陽光ピーク
5,024万kW
11時30分、50,240 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
92万kW
0時30分、925 MW

◇ 再エネ最大需要比
57.1%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
中部
69.6 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
57.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

東北 37.1%

93.3 GWh

出力抑制量

10.1 GWh

最大: 東北 9.7 GWh

揚水・蓄電の充電

36.7 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:00に3,385万kWでした。
- 再エネ比率は東北が最も高く、発電電力量ベースで37.1%でした。
- 出力抑制は北海道、東北、四国。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**27.9%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**605 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,168 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**57.1%**	12時
出力抑制量	**10.1 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**36.7 GWh**	発電構成比には含めない

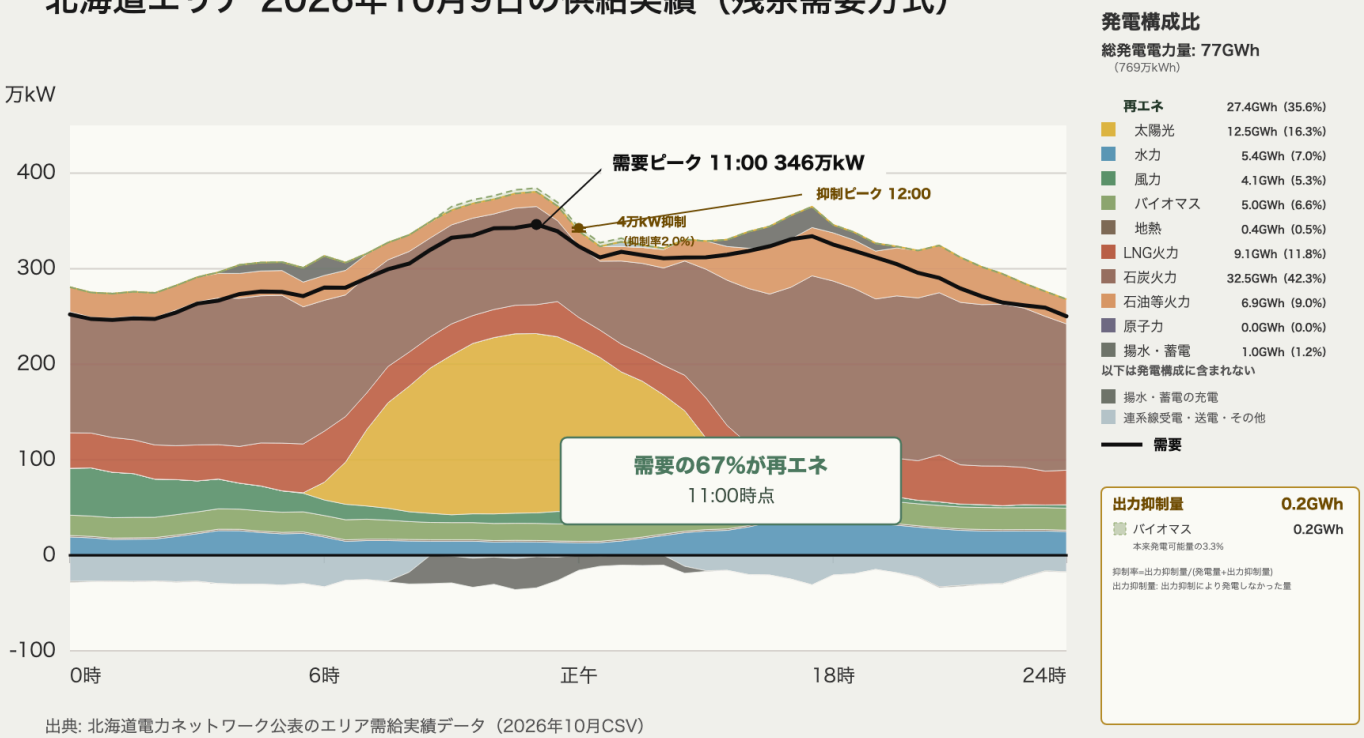
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**35.6%**	**27.4**	**0.2**	**送電 4.5**
東北	**37.1%**	**93.3**	**9.7**	**送電 57.6**
東京	**22.4%**	**140**	**0.0**	**受電 63.5**
中部	**36.6%**	**101**	**0.0**	**受電 69.6**
北陸	**29.2%**	**22.4**	**0.0**	**送電 9.6**
関西	**23.1%**	**75.1**	**0.0**	**受電 27.8**
中国	**25.4%**	**45.7**	**0.0**	**送電 26.8**
四国	**30.4%**	**29.5**	**0.2**	**送電 34.1**
九州	**28.5%**	**66.8**	**0.0**	**送電 8.5**
沖縄	**13.1%**	**3.3**	**0.0**	—

2026年10月9日の供給実績

北海道エリア

再エネ
27.4GWh
（発電電力量ベース35.6%）

北海道エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.9GWh

需要ピーク
11:00、346万kW

連系線・その他
4.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.5GWh

出力抑制
0.2GWh

概況

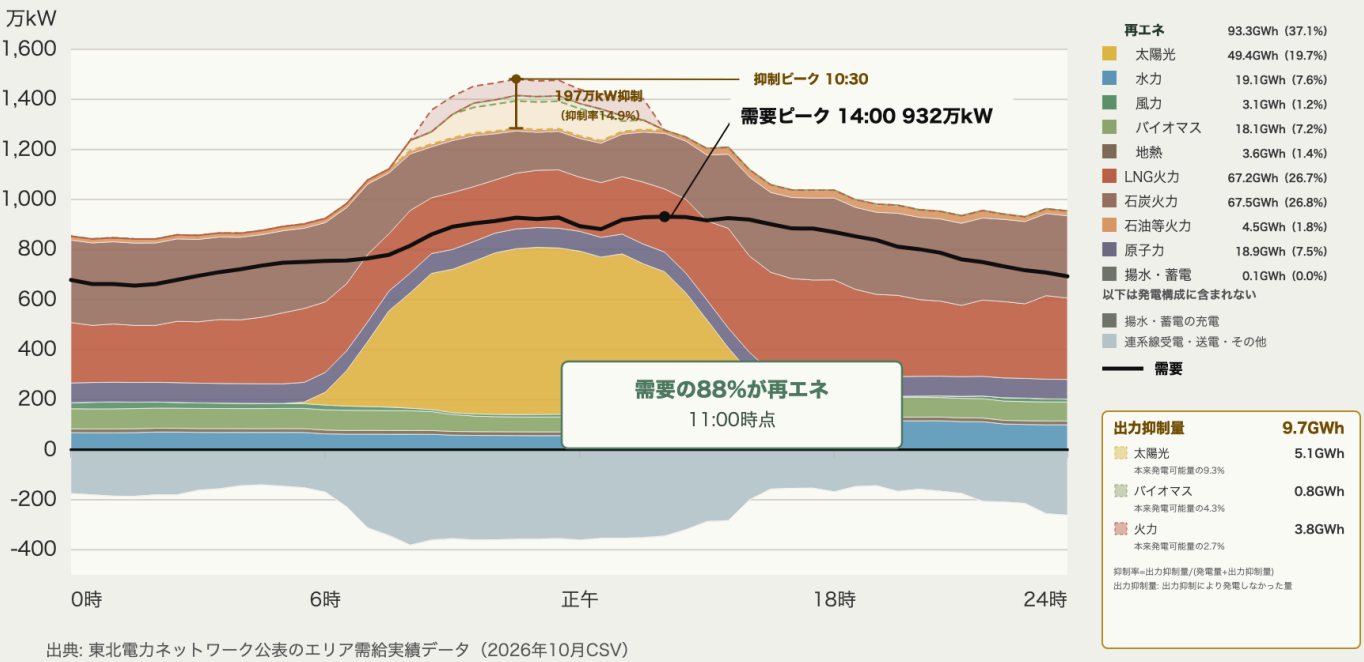
北海道は、太陽光ピーク188万kW、風力ピーク50万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.7%だった。

2026年10月9日の供給実績

東北エリア

再エネ
93.3GWh
（発電電力量ベース37.1%）

東北エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
251.6GWh

需要ピーク
14:00、932万kW

連系線・その他
57.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
9.7GWh

概況

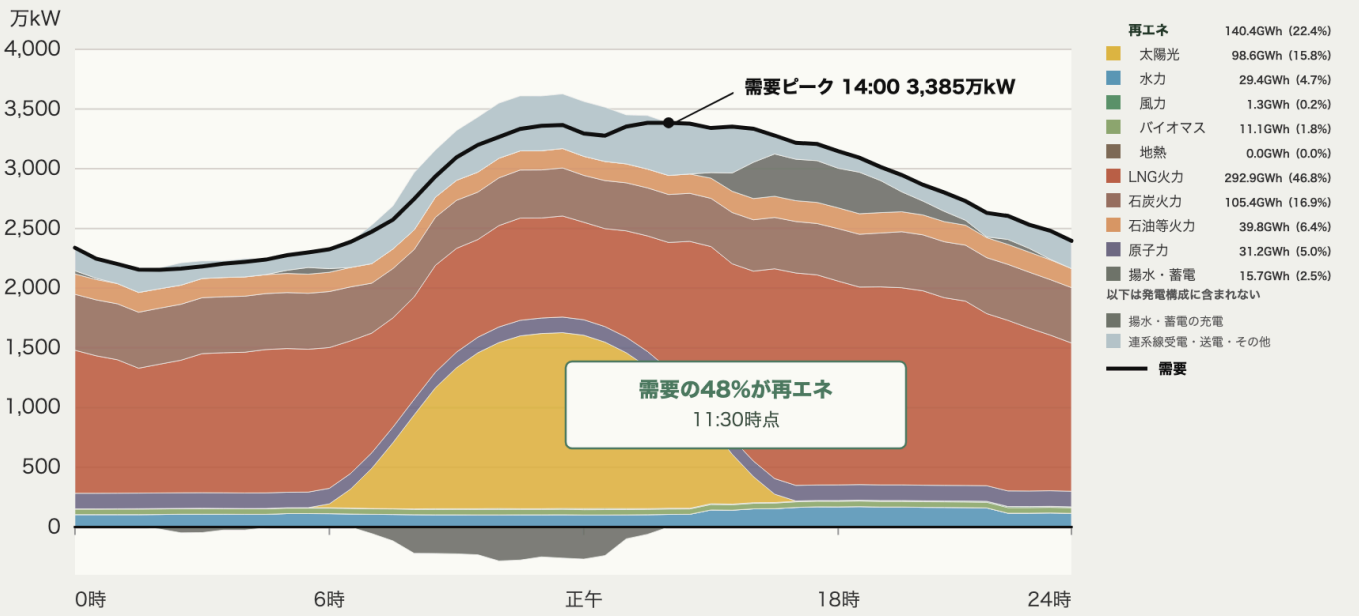
東北は、太陽光ピーク668万kW、風力ピーク27万kWで、時間別の再エネ最大需要比は88.9%だった。

2026年10月9日の供給実績

東京エリア

再エネ
140.4GWh
（発電電力量ベース22.4%）

東京エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
625.4GWh

需要ピーク
14:00、3,385万kW

連系線・その他
63.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
14.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

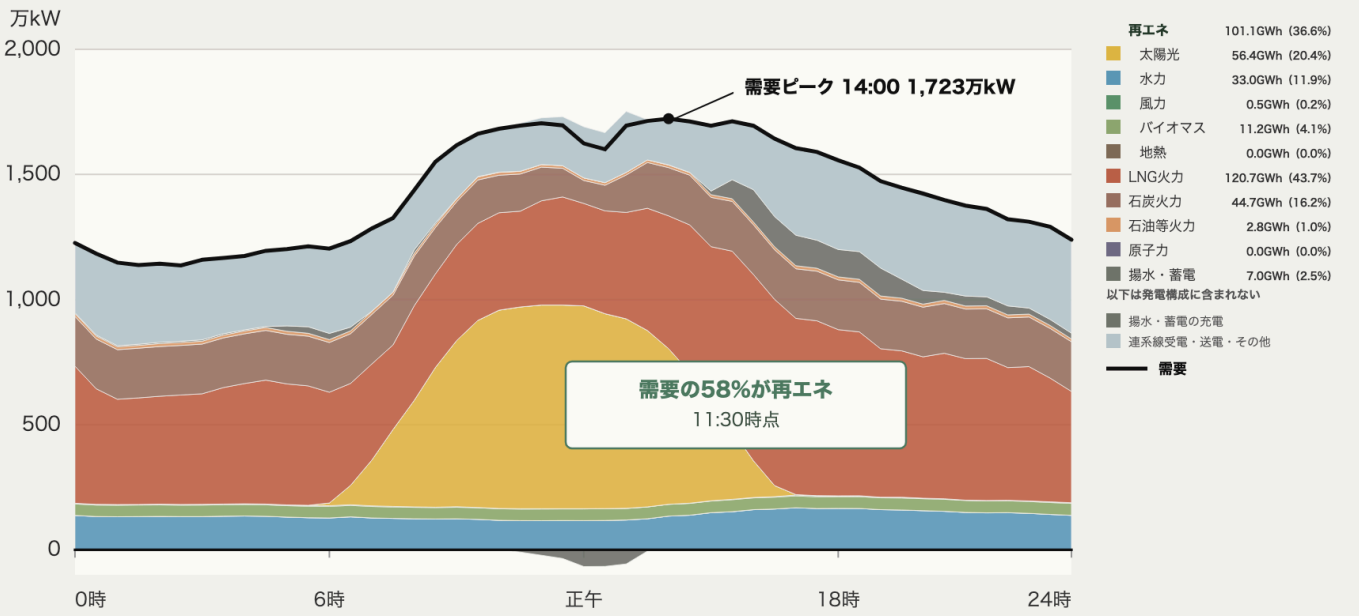
東京は、太陽光ピーク1,472万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.7%だった。

2026年10月9日の供給実績

中部エリア

再エネ
101.1GWh
（発電電力量ベース36.6%）

中部エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
276.3GWh

需要ピーク
14:00、1,723万kW

連系線・その他
69.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
1.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

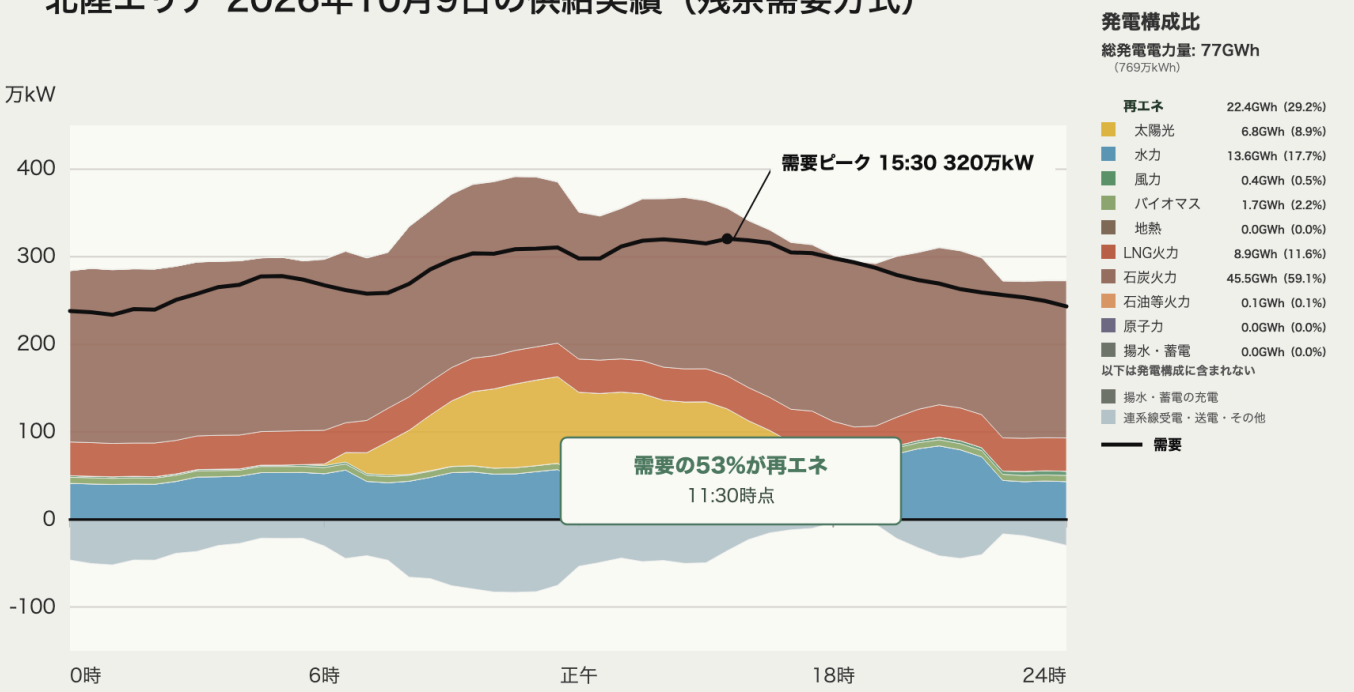
中部は、太陽光ピーク814万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.0%だった。

2026年10月9日の供給実績

北陸エリア

再エネ
22.4GWh
（発電電力量ベース29.2%）

北陸エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.9GWh

需要ピーク
15:30、320万kW

連系線・その他
9.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

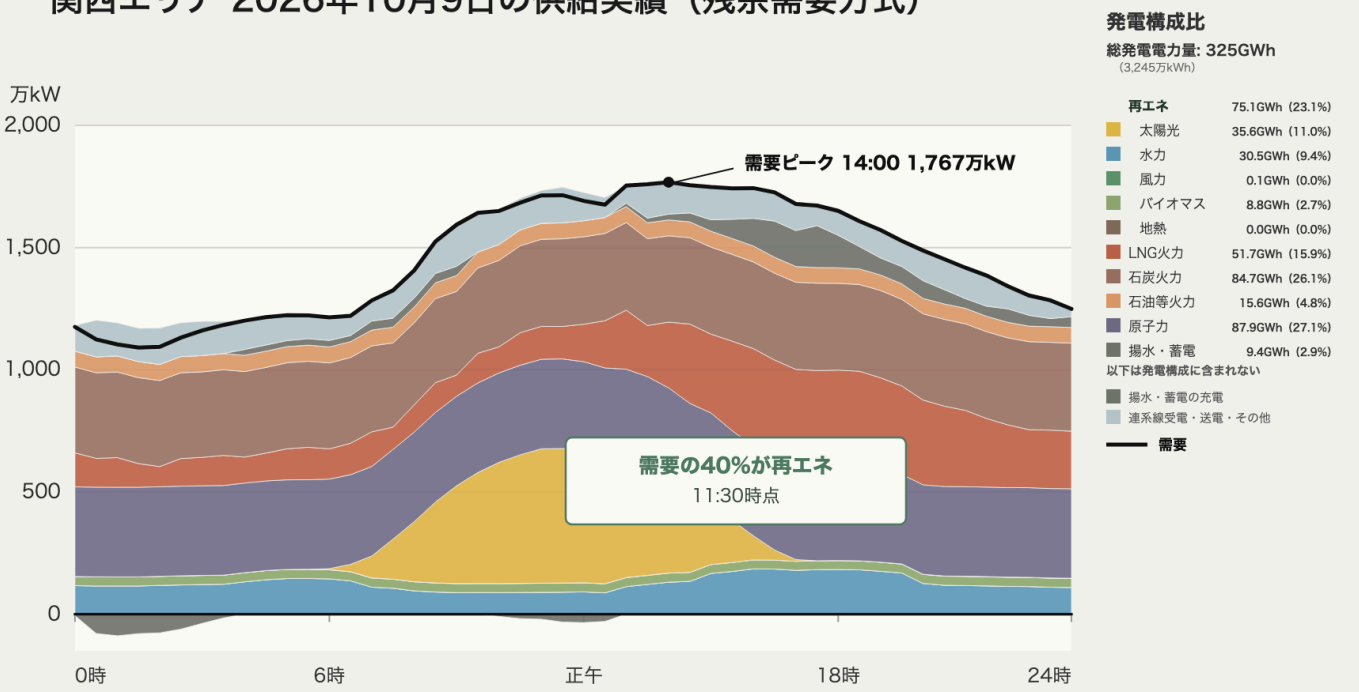
北陸は、太陽光ピーク99万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.5%だった。

2026年10月9日の供給実績

関西エリア

再エネ
75.1GWh
（発電電力量ベース23.1%）

関西エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
324.5GWh

需要ピーク
14:00、1,767万kW

連系線・その他
27.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

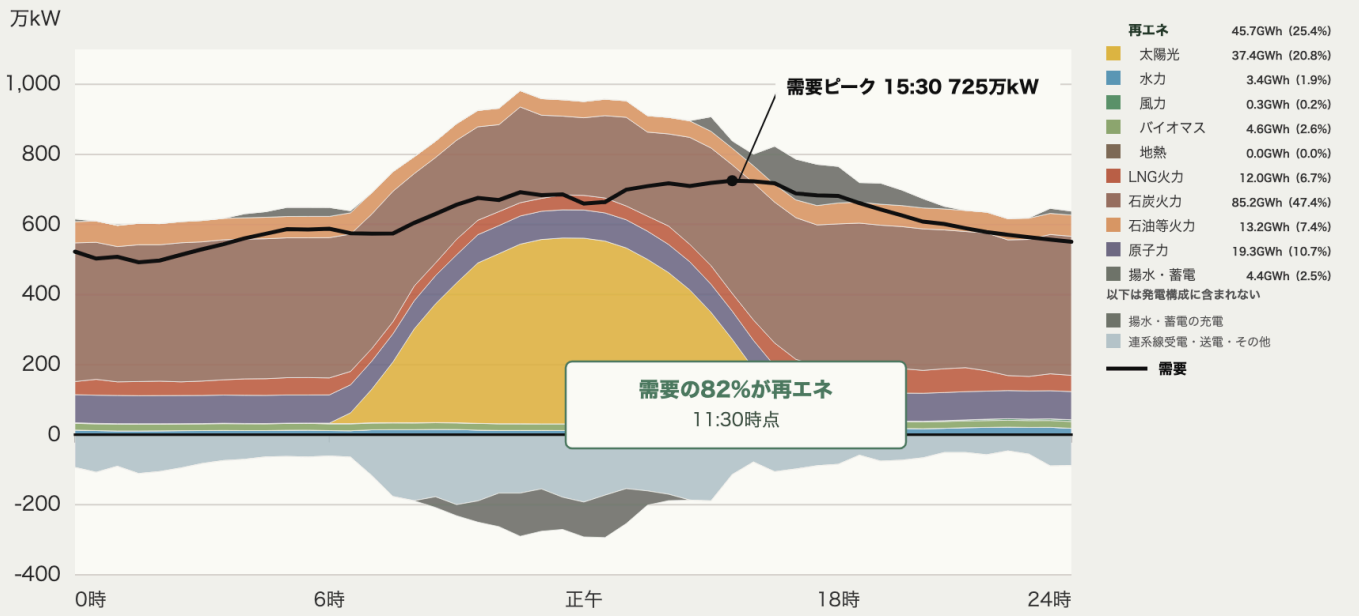
関西は、太陽光ピーク550万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は39.5%だった。

2026年10月9日の供給実績

中国エリア

再エネ
45.7GWh
（発電電力量ベース25.4%）

中国エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
179.8GWh

需要ピーク
15:30、725万kW

連系線・その他
26.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
4.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

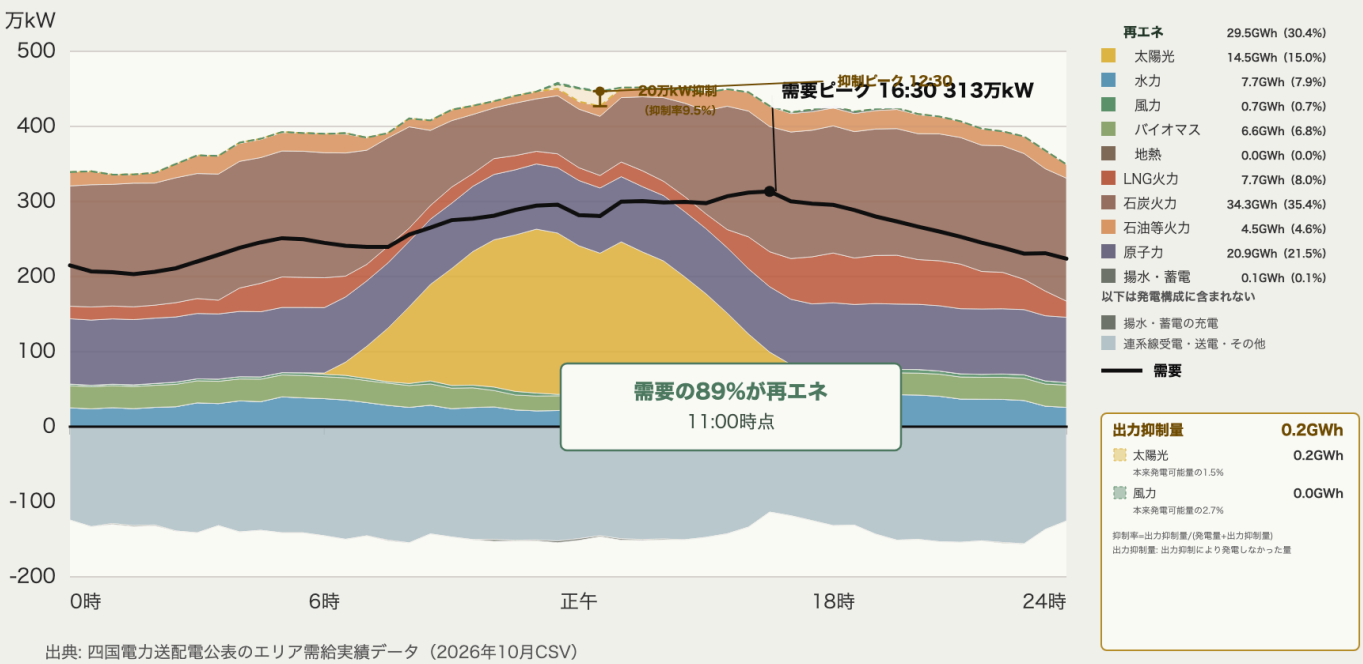
中国は、太陽光ピーク531万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は85.1%だった。

2026年10月9日の供給実績

四国エリア

再エネ
29.5GWh
（発電電力量ベース30.4%）

四国エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
97.0GWh

需要ピーク
16:30、313万kW

連系線・その他
34.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.2GWh

概況

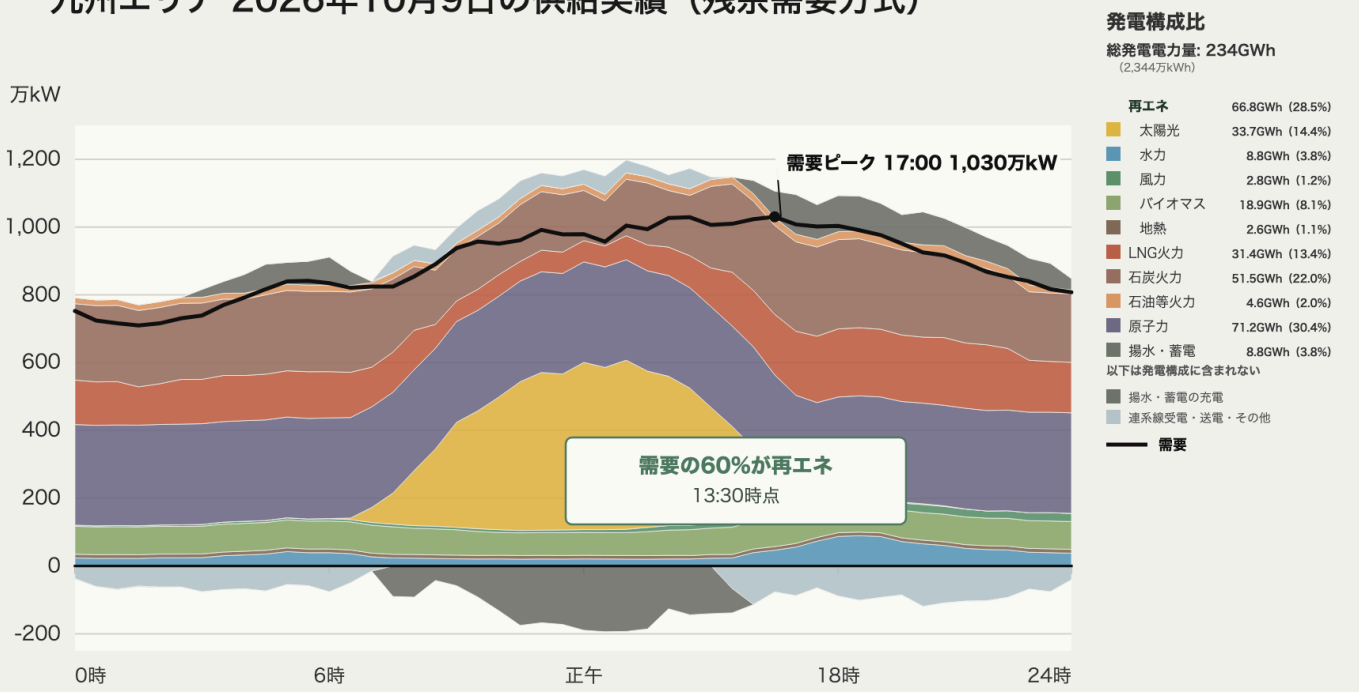
四国は、太陽光ピーク218万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は89.4%だった。

2026年10月9日の供給実績

九州エリア

再エネ
66.8GWh
（発電電力量ベース28.5%）

九州エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
234.4GWh

需要ピーク
17:00、1,030万kW

連系線・その他
11.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
11.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

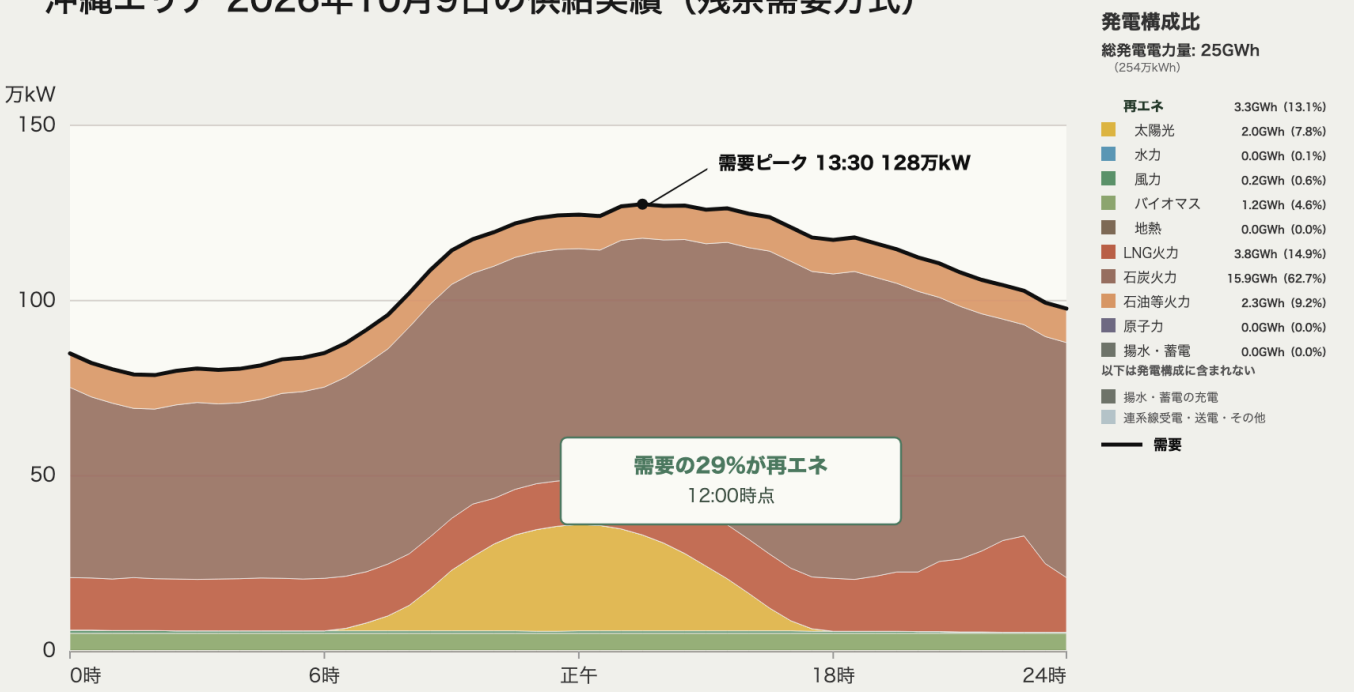
九州は、太陽光ピーク499万kW、風力ピーク25万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.4%だった。

2026年10月9日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.3GWh
（発電電力量ベース13.1%）

沖縄エリア 2026年10月9日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
25.4GWh

需要ピーク
13:30、128万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク30万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は29.0%だった。